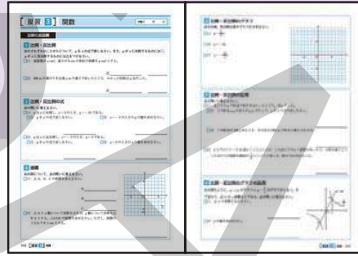


指導の手順
(授業の流れ)

- ①準備・復習 ②導入・確認 ③演習 ④チェック ⑤課題の指示

新しい章に入るときは…

各章の冒頭に【復習】ページがあります。
新しい章に入る場合は、この【復習】ページの問題を解かせて、前学年でどのような内容を学習していたかを確認させましょう。



60分
授業

①準備・復習 10分 (15分)

- ・学校の進度を生徒に聞きます。
- ・前回の授業でわからない内容がなかったか、生徒に聞きます。
- ・宿題の確認をします。質問があれば答えます。
- ・前回内容の小テストを実施し、丸つけをします。間違えた問題は解き直しをさせましょう。
- ・今日の授業の【学習目標】について生徒に伝えます。(右ページ上部に記載)

②導入・確認 15分 (25分)

【ポイント】

- ・【ポイント】にしたがって、単元の基本事項、重要語句を教え、例題で解き方を教えます。
- ・【ポイント】は【基本】[標準][応用]の3段階に分かれているので、生徒のレベルに応じて進度(どのポイントまで教えるか)を調整してください。
- ・【基本】が完全に理解できていないまま、【標準】に進まないようにしましょう。

【確認問題】

- ・【確認問題】を解かせて、【ポイント】の内容をしっかり理解できたかどうか確認します。
- ・初めは、★マークの問題(必ず解かせたい問題です)を中心に解かせると効果的です。
- ・わからない問題があったら、すぐに【ポイント】に戻って確認することを徹底させましょう。
- ・間違えた問題は必ず□にチェックさせ、定期テスト前までに復習させましょう。

③演習 20分 (30分)

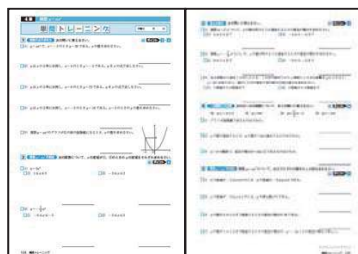
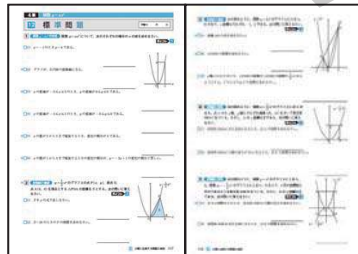
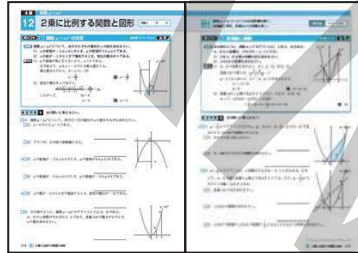
【標準問題】

- ・【ポイント】が理解でき、【確認問題】を解き終えた生徒には【標準問題】を解かせます。
- ・【ポイント】と運動しています。生徒がつまずいたら、対応する【ポイント】の解説に戻って、もう一度確認させましょう。



ワンポイント

- ・理解が深く、【標準問題】はまだ無理かもしれないという生徒には、【計算トレーニング】や【単問トレーニング】の問題を解かせてみましょう。基本問題で構成されています。
- ・間違えた問題は必ず□にチェックさせ、定期テスト前までに復習させましょう。



90分
授業

①準備・復習

②導入・確認

③演習

④チェック

⑤課題

60分
授業

③演習

④チェック 10分 (15分)

【語句・基本問題】

- ・章末にある【語句・基本問題】のページの問題の中から、今日の授業の【ポイント】に関連している問題を選んで解かせます。
- ・時間があるようであれば、生徒の理解度を見ながら章末【まとめの問題A】を演習させてもよいでしょう。

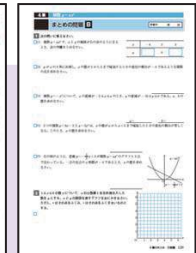
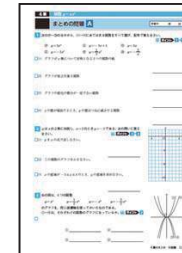
⑤課題の提示 5分 (5分)

- ・今回の授業でわからなかったところがないか、生徒に聞きます。(あれば対応しましょう)
- ・宿題の指示を行います。例としては、授業で着手できなかった問題、解き終えられなかった問題、間違えた問題、などです。
- ・次回の学習内容について触れ、復習の大切さについて伝えます。

章のおわりには…【まとめの問題A】【まとめの問題B】

各章のおわりにある【まとめの問題】で、学習内容が正しく理解、定着されているか確認してください。

- *【まとめの問題A】…対応する【ポイント】が明記してあります。生徒がつまずいたら、【ポイント】に戻って確認させましょう。
- *【まとめの問題B】…【A】よりも難易度が上がります。生徒によってどこまで解かせるか判断しましょう。



90分
授業

③演習

④チェック

⑤課題

定期テスト対策

復習プラス

定期テスト前には…

- ・間違えて□にチェックした問題を、もう一度解かせましょう。
- ・別冊テスト「iワークプラス」を解かせて、現時点での実力を確認し、理解の間違い、定着モレのないようにチェックしてあげてください。
- *第1部…各単元ごとのチェックテスト
- *第2部…各章ごとのチェックテスト

定期テストで高得点をねらうには…

- ・【標準問題】【まとめの問題A】【まとめの問題B】の難易度の高い問題に触れさせ、実力をつけさせましょう！

High Score!!

